



# こどもクリニックニュース

NO. 155 平成24年12月1日発行  
ともながこどもクリニック

## 年末・年始の休診

勝手ながら、以下の日程で休診といたします。

12月29日(土)～1月3日(木)

ただし1月2日は「休日診療」の当番日ですので、午前中は診療いたします。

水曜日は一日休診です。

## 院長の予定 (2013年1月まで)

|     |     |     |      |        |
|-----|-----|-----|------|--------|
| 12月 | 10日 | (月) | 3才健診 | 保健センター |
| 1月  | 16日 | (水) | 2才健診 | 保健センター |

これらの日は午前の受付を12:00前に締め切ることがあります。また午後の診療開始時間が多少遅れることがあります。

## 感染症の情報

11月後半から、胃腸炎症状の方が急激に増えてきました。これから年末にかけて大流行するのが、毎年お決まりのパターンです。溶連菌感染症や水痘の患者さんも、少ないながらも増加傾向にあるようです。

RSウイルス感染症も多い状況が続いていますが、どうやら流行のピークは過ぎ、例年どおりの報告数に安定してきたようです。一時懸念されていた「爆発的な大流行」を起こす恐れは少なくなったように思われます。

一方で、11月下旬からインフルエンザの報告数が少しずつ増えてきています。これから寒さが厳しくなるとともに流行が広がることは間違いないでしょう。予防接種を検討中の方は、お早目に開始されますようおすすめします。

手洗いは、すべての感染症の予防にとっても有効です。

ロタ?? ノロ?? それとも・・・

胃腸炎の原因の多くはウイルスであり、ロタウイルスやノロウイルスが多いですが、他にもいくつものウイルスがあります。いずれにしても治療は同じですし、予防方法も共通ですので、「原因はどれ?」と悩むのはあまり意味のないことだとも思います。

よく聞かれる質問です・・・

「熱さまし」は体温が何度になったら使うのですか?

熱が出てつらい時に使う「熱さまし」。お子様にはお尻(肛門)から入れる「座薬(ざやく)」をしばしば処方しますが、ほかにもシロップや粉薬、錠剤があります。ところでその「熱さまし」を使うタイミングについて、しばしば質問されます。何度になったら使うのですか?

私の答えはいつもワンパターン

「熱の高さに、特に決まりはありません。本人がつかうなら使ってください」。

熱さましは病気の時の『発熱』を一時的に抑えるだけの薬であり、病気を治す薬ではありません。熱のために、死んだり、頭がおかしくなることはありません。熱があっても本人が比較的元気で水分も充分飲んでいれば、無理に熱を下げなくても良いのです。元々の病気が良くなれば、自然に熱は下がります。

他の病院で熱さましを処方された方から聞いた印象では『38度5分』以上で使うように指示される医師が多いようです。でもそれには医学的な根拠はなく、薬の効能書にもそんなことは書いてありません。一般的に子供は大人よりも体温が高いので、むやみに使わないための目安として『38度5分』といわれることが多いのだと思います。しかし、もともと体温には個人差があるし、熱に対する抵抗力にも個人差があります。

私は、熱の高さよりも患者さん本人の状態をよく観察し、『熱のためにとても辛そうだ』と感じたときに使ってほしいと考えています。体温が40度あっても、機嫌が良ければ薄着にして涼しくするだけで十分です。



## 四種混合ワクチンの販売量について

11月1日から、三種混合ワクチンと不活化ポリオワクチンを混合した「四種混合ワクチン」が販売され、使用できるようになりました。2回の注射が1回で済むため、赤ちゃんにとっても保護者の方や我々医療機関にとっても嬉しいことです。

ただ現時点では、このワクチンの製造・販売量が十分ではなく、今年の8月以降に生まれた赤ちゃんに接種することができる、ギリギリの量しかないそうです。そのため各県ごとに販売量が決められており、我々の手元にも割り当てられた人数分しか届かず、配達される日にちも、直前まで分からないのです。そのため、1ヶ月先の接種計画を立てることができないのが悩みです。

そこで当院では、接種日にちを決めないで「申し込み」のみを受け付けています。この年頃の赤ちゃんは、これ以外にもヒブや肺炎球菌ワクチン、BCG、また自費ではありますがロタウィルス、B型肝炎ワクチンなど、接種できるワクチンがたくさんあります。2種類以上のワクチンの同時接種でも構わないという方であれば、それらのワクチン接種を計画しておいて、四種混合ワクチンは、確保できた時点で追加して接種を行うというやりかたをお勧めしています。

同時接種は嫌だという方の場合は、ワクチンが確保できたら電話で連絡して接種日を相談して決めることになります。

四種混合ワクチンは生後3ヶ月から接種できるワクチンです。今はワクチンの量が十分ではないといっても、2ヶ月も3ヶ月も接種開始を待たされるほど不足しているわけでもありません。このような事情をご理解いただきながら、接種可能なワクチンからどんどん実施していただきたいと思います。



## インフルエンザの出席停止期間の変更

インフルエンザにかかった時、学校は出席停止になりますが、登校できる基準が変わりました。

発病後（最初の症状が出てから）5日以上経過し、さらに熱が下がって48時間（2日間）過ぎていたら登校して良い、というのが新しい基準です。

なお、幼稚園や保育園の登園許可基準は「発病後5日以上、解熱後3日」です。解熱後の日数に、違いがありますのでご注意ください。

この変更内容は、医師の間でも十分に情報が伝わっていないおそれがあります。そのため今シーズンは、出席許可に関して病院や学校の間で多少の混乱があるかもしれません。

## 小児科休日診療の予定

加須市では、11月から来年3月まで、元日を除く日曜・祝日に休日診療が実施されます。1月6日までの当番は以下のとおりです。

### 平成24年12月

| 日にち | 曜日  | 当番医      |
|-----|-----|----------|
| 2日  | (日) | 福島小児科医院  |
| 9日  | (日) | 中田病院     |
| 16日 | (日) | 加藤こどもC   |
| 23日 | (日) | 中田病院     |
| 24日 | (月) | ともながこどもC |
| 30日 | (日) | つのだ小児科医院 |
| 31日 | (月) | つのだ小児科医院 |

### 平成25年1月

| 日にち | 曜日  | 当番医      |
|-----|-----|----------|
| 1日  | (火) | -        |
| 2日  | (水) | ともながこどもC |
| 3日  | (木) | 福島小児科医院  |
| 6日  | (日) | 中田病院     |

診療（受付）は9:00~12:00です。

医療機関の都合により当番が変更される場合があります。ご利用の際は、加須市の広報誌やホームページなどで、最新情報をご確認ください。

## ● 風疹はどうなった？

今年の春先から風疹の流行が始まり、注意喚起がなされました。その後、夏に流行のピークを迎え、今は流行も終わりかけている状況です。大規模な流行にならなかったのは幸いです。

とはいえ、今までに風疹に罹った事がなく、風疹ワクチン（もしくは麻しん風しん混合ワクチン）を接種したこともない方は、是非ワクチン接種をおすすめします。今後妊娠出産を予定している方にとっては、とりわけ大切なワクチンです。男性も勿論おすすめします。



こどもクリニックニュースの  
無料郵送サービスをしています！

郵送をご希望の方は、受付でお申し込み下さい

携帯用ホームページ



ともながこどもクリニック

加須市下高柳 1633-1

TEL0480-66-4150